

## 令和3年4月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和3年4月6日（火） 10時
- 2 場 所 中間市役所本館4階第1委員会室
- 3 出席者 教育長 片平慎一  
教育委員 河本直子、衛藤修身、佐野正靖
- 4 欠席者 教育委員 太田かおり
- 5 事務局 教育部長 船津喜久男  
学校教育課長 松永嘉伸  
学校指導課長 森 秀輔  
教育施設課長 北原鉄也  
生涯学習課長 米満孝智  
学校指導課課長補佐 掛橋賢議  
生涯学習課課長補佐 田代磯政  
学校教育課教育総務係長 野中康伸
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

# 定例教育委員会議事日程

令和3年4月6日（火）10時00分

- 1 令和3年2月臨時教育委員会の議事録の承認  
令和3年3月定例教育委員会の議事録の承認
- 2 報告事項
  - (1) 令和3年4月学校教育行事及び社会教育施設行事について
  - (2) 専決処分を報告し、承認を求めることについて  
承認第1号 中間市学校運営協議会の設置及び運営に関する規則について
  - (3) なかまっ子チャレンジ英検補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
  - (4) 中間市地域学校協働活動ボランティア設置要綱の制定について
  - (5) 令和2年度卒業式について
  - (6) 第2回中間市学校施設再編基本計画策定委員会の開催日時等について
- 3 協議事項
  - (1) 令和3年5月定例教育委員会の日程について
- 4 議決事項
  - 第17号議案 中間市地域学校協働活動推進員の委嘱について

[開会時刻：10時00分]

- 船津教育部長 今日出席の予定の委員皆様、お揃いでございますので、令和3年4月定例教育委員会を開催いたします。なお、太田教育委員につきましては、授業の関係で欠席となっております。よろしくお願いいたします。
- 片平教育長 それでは、令和3年4月定例教育委員会を開催いたします。  
令和3年度のスタートでございます。新しいメンバーを迎え、教育委員会事務局も新たな気持ちで様々な教育課題を乗り越えていこうという意気込みを持ってスタートしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。  
まず、議事録の承認ということで、2月臨時教育委員会、それと3月の定例教育委員会の議事録の承認をお願いいたします。よろしいでしょうか。
- 教育委員 <<了承>>
- 片平教育長 承認ということで進めさせていただきます。  
報告事項に入ります。令和3年4月学校教育行事及び社会教育施設行事について説明をお願いします。最初に学校教育行事を森課長お願いいたします。
- 森学校指導課長 共通行事といたしまして、明日4月7日、小中学校ともに始業式が行われます。令和3年度の教育課程がスタートいたします。8日には適応指導教室の担当者会が入っておりますが、こちらについては始業式と合わせて行っていましたが、感染症対策が必要であることと子供たちの状況を鑑みて、入学式は取りやめて開室のみ行うこととしました。併せて担当者会についても状況を見て開催したいと考えています。9日、中学校の入学式が行われます。また小学校では、給食が開始されます。12日、小学校での入学式が行われます。また中学校では、この日から給食が開始されます。ただし8日は、2・3年生については簡易給食が実施されます。また小学校は15日から新しい1年生の給食も開始となります。  
続いて各学校の行事です。各学校で4月に授業参観が行われることとなりますが、底井野小学校と中間小学校については6月に実施される予定となっております。これはコロナ対策をして、学校で進め

られています。他の小学校につきましては、4月に行われますが、1日に2時間行ったり、2日間に分けて実施したりして、分散という形で密を避ける取り組みが行われています。それから1年生を迎える会や歓迎遠足といった行事が例年行われておりますが、こちらについてはそれぞれの学校で感染症対策を施した上で行われます。集会として1ヶ所に集まることはどの学校も行わず、屋外で、1年生と6年生のみで行ったり、動画で紹介したりというような工夫がされております。また、遠足についても、校地内を利用したりして、間隔を空けてお弁当を一緒に食べるようにされています。底井野小学校と中間西小学校については、ゴールデンウィーク明けに行われるということがございます。各学校の保健関係行事として、視力検査や身体測定等が行われます。いずれも感染症対策を施した上での実施となります。中学校におきましては、新年度スタートにあたり子供たちの学力の状況をしっかりと把握するために学力分析テストが行われることになっています。以上説明を終わらせていただきます。

片平教育長

ただいま学校行事について説明がございましたが、これについてご意見、ご質問等はございませんでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

中間小学校は30日に個人懇談会が組んでありますが、この時期の個人懇談会は何をするのか内容を教えてください。

それから中間西小学校と中間東小学校ですが、どちらも交通安全指導というのが入っています。この交通安全指導はいわゆる新1年生のための交通安全指導なのか、春学校に登校してくる全ての児童のための交通安全指導なのか、また、具体的にどういうことをされるのか内容を教えてください。

続きまして、中学校ですが、中間北中学校の家庭訪問が4月20日から4月30日までの間で6回ほど計画をされています。他の学校は3回から4回ですが、6回される計画等を教えてください。

片平教育長

ただいま3点ご質問がございましたが、それについて森課長回答をお願いいたします。

森学校教育課長

1点目、中間小学校の30日の個人懇談会についてです。中間小学校では感染防止の観点から家庭訪問を取りやめて、それに代わるも

のとして個人懇談会を実施するということとございます。30日と5月のゴールデンウィーク明けに3日間を使って個人懇談会を実施して、保護者との顔合わせを行うとのこととございます。また、その後、夏休み前と冬休み前に個人懇談を行います、それは通常どおり行うということとございます。

2点目、中間西小学校と中間東小学校の交通安全指導についてです。中間東小学校では13日から入っていましたが、そのあとの協議で7日から変更になったとのこととございます。いずれも全校児童の交通安全の意識の喚起と具体的な安全指導が目的とございます。教職員が朝、子供たちの登校時間帯に各校区の要所に立って実地で交通安全指導を行い、併せて地域の交通見守りの方との顔合わせや挨拶等を行って行くものとしてとございます。

3点目、中間北中学校の家庭訪問の日数についてです。19日から22日の4日間は全学年共通で行われますが、26日は1年生が翌日からふれあい教室が行われるため、この日の実施は難しいということから、26日に2年生3年生のみ家庭訪問を実施、そして30日については1年生のみの実施ということとございます。結果として6日間の表記になっているということとございます。以上とございます。

片平教育長

よろしいでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

中間中学校の30日の修学旅行代替行事とは、どのような内容か教えてください。

森学校指導課長

修学旅行代替行事というのは、昨年度2年生が修学旅行に行けなかったために、それに代わるものとして、本年度日帰りですが、バスを利用して県内で校外学習、校外活動を行うというものです。行先については県内を想定し、業者と検討中であるということとございます。

片平教育長

よろしいでしょうか。  
他にございませんでしょうか。河本教育委員。

河本教育委員

中間北小学校の19日の第1期早起き週間というのがありますが、どのような内容なのか教えてください。

森学校指導課  
長

中間北小学校では、早起き週間の取り組みというのが、年間3回計画をされております。各学期の初めに、生活リズムを取り戻すための取り組みとして継続的に行われているものです。カードを利用して、早起きをする時刻の目標を設定します。家庭と連携を取りながら何時何分に起きたかを記録して、担任と家庭とで毎日確認します。これが1週間続けて行われて、最後に担任からコメントをつけて返却をするというものです。朝のスタートをしっかりと支えていこうという取り組みでございます。

河本教育委員

今月入学式を迎えるにあたって、私は自身の小学校の同窓会などで、子供たちが自分たちの時ほど先生たちを尊敬していないというか、馬鹿にしていると、そういうことを言う方がいて、そういった意味で教育が乱れてきているという話になることがあります。以前研修で、そういうことにならないよう入学式の時にきちんと校長先生がお話しをされて、そして学校を良くしていったという話を聞いたことがあります。前にも私はこの話をしたことがあると思うのですが、私も実は子供を小学校に入学させた時に、校長先生からお母さんたちが先生の悪口を子供と一緒に言わないようにということを言われました。それが尊敬ではないですが、そういうことに繋がるのだと、最近になってやっと理解できました。その時はどうしてだろうと思っていました。先生が直接保護者に尊敬してくれとは言いきいかもしれませんが、やはりそういう風に先生の悪口ではないですけど、親が子供と一緒にいろいろな言うのは、やはりやりにくくなると思うので、子供達には先生を尊敬してもらう基本を家庭で作ってほしいということを伝えていただいても良いのではないかなと思ったので、お願いしたいと思います。

片平教育長

子供を育てる上、教育効果を高める上では、子供を教育するという観点から、子供が親に対して先生の悪口を言った場合、親も一緒になって教師の悪口を言うのは、教育的には、どうかなっていうところはございます。そういったところで、今河本教育委員が言われたように、入学式等でそのような場合の対応の仕方などの話をするということも1つ大事なことだと思いますし、日ごろの教育活動の中できちんと押さえるところも必要ではないかと思えます。今日、校長会議がございまして、河本教育委員の意見について校長先生にも伝えたいと思えます。

	<p>よろしいでしょうか。衛藤教育委員。</p>
<p>衛藤教育委員</p>	<p>その件ですが、今は親御さんがスマホを持っているので、ラインで一斉に様々な情報が流れるそうです。あることないことが流れていくということで、知らないお母さんが間違っただけの情報が入手するというところもあるだろうと思います。ラインの場合、そのような情報を信じこまれたら大変だと思いますから、その点もどこかできちんとお願ひされた方が良くはないですか。</p>
<p>片平教育長</p>	<p>情報網の活用が良い方向に向かえば良いのですが、こういうことを学校はしてくれるとか、こういったものがあるからみんなで学校に行き一緒に見学しようとか。逆に違う情報が一斉に流れると、やはり先入観とか様々なところが出てきますので、教育も非常にやりにくいという所もあります。それが子供たちに影響しますので、そういうところを校長会議で話をしたいと思います。</p> <p>他によろしいでしょうか。佐野教育委員。</p>
<p>佐野教育委員</p>	<p>中間西小学校の研修の中に、21日のiPad利活用、それから中間中学校の13日の研修のICTという所が、先日から話になっているICT教育をという、先生に向けての研修が行われるのだと思います。具体的には子供たちに配付して利活用するというのは、今年度のいつごろからという具体的な計画は決まっているのでしょうか。</p>
<p>森学校指導課長</p>	<p>各学校の正確な日にちまでは、確認できておりませんが、4月中に各学校で、まずは子供達にiPadの使い方の指導と管理をきちんとしないと行けません。そこで、全学校で学級ごとに子供達に実際にiPadを使ったらこんな事ができるという希望を持たせ、学習の展望を持たせることと、適切な使い方についての指導を学級活動の時間を活用しまして指導するようになっております。こちらは各学校で確実に4月中に実施されるようにしております。利活用研修は、職員が、まずどのように使えるのか、またどのように管理していくのか、こちらをきちんと身に付けるための研修です。こちらも4月中に行うようにしております。</p>
<p>片平教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。佐野教育委員。</p>

佐野教育委員	中間南中学校は集団宿泊体験学習というのが予定されていますが、他の中学校では同じような体験学習、宿泊の学習は予定されていませんでしょうか。
森学校指導課長	中間北中学校の27日、28日、このふれあいというのが、同じように宿泊体験学習になっております。その他の中学校につきましても5月以降に実施される予定と聞いております。
片平教育長	よろしいでしょうか。 それでは先に進めさせていただきます。 社会教育施設行事について米満課長説明をお願いいたします。
米満生涯学習課長	<p>体育文化センターです。4月18日（日）9時からやっちゃれビーチボールバレー大会が開催されます。参加チームは約15チーム、参加料は1チームにつき1,000円、対象者は中学生以上となっております。</p> <p>図書館です。4月25日（日）13時30分から14時30分まで、わくわくアニメ上映会が行われます。上映作品は、おしり探偵となっております、定員15名、対象者はフリーとなっております。</p> <p>ハーモニーホールです。4月22日、18時30分からエントランスにてミュージック・スクエアが開演されます。ピアノ・フルート・ギター等で演奏いたします。定員は約30名となっております。</p> <p>生涯学習センターです。4月24日（土）10時から12時まで、特別講座といたしまして「新型コロナから身を守る」正しく知り、正しくおそれようが行われます。内容といたしましては、「コロナを防ぐには」、「かかったら」、「コロナ差別を受けたら」、そのような疑問を医学的・社会的に考えコロナへの対応策を考えるものです。以上です。</p>
片平教育長	ただいま社会教育施設行事について説明がございましたが、これについてご意見、ご質問等ございませんでしょうか。河本教育委員。
河本教育委員	25日にソフトテニス大会がありますが、硬式テニスはやっていないのでしょうか。実はこの間、ジョイパルでやっているミズノ硬式テニスクラブのテニススクールの見学に行きました。その時に1人

しか生徒さんがいらっしやなくて、1人というのは、試合練習もできなくて、生徒さんにとっては非常に面白くないのではないかと思いました。私はテニススクールがあっていることも知らなくて、ジョイパルを検索したときに偶然見つけて、見に行きました。このコロナ禍の中で、外だとリスクは少ないと思いますし、免疫をつけるためにはとても良いことではないかと思えます。テニススクールがなくなってしまうのもったいないので、何かもう少しPRしても良いのではないかと思いました。

米満生涯学習  
課長 硬式テニスにつきましては、ミズノ体協グループの実施事業として講習を行っています。今コロナなので人数は少ないです。HP等にも実施事業部分につきましては掲載をしております。

河本教育委員 試合等はされていないのでしょうか。

米満生涯学習  
課長 ミズノはミズノの中でしています。今後、ジョイパルにつきましては、テニスのマシーンを購入するようにしていますので、それを活用していただければと思っています。一般利用でも借りられるようにしたいと思っています。

河本教育委員 PRをお願いいたします。

片平教育長 そういった宣伝は大事ですよ。  
他にございませんでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 中央公民館利用について、前回の教育委員会の時も今年は講座を5つほど増やすということで予算等も増やしてありましたので、講座が増えたりすると、やはり計画的にしていかなないとなかなか進まないと思います。いつごろから中央公民館利用又は行事等を再開されるのか、そういう目途がもし分かっていたら、教えていただきたいと思っています。中央公民館が市民の側からすれば閉館になったと、行事も無くなったという印象を与えないようにということが、中央公民館の機能をそのまま移転するということに繋がるような気がいたしますので、中央公民館は無くなったけど、機能として色々な活動や講座や事業は続けてあっているという形の方が、市民から

すればありがたいし、学ぶ機会も増えるということになりますので、どのようになっているかお尋ねします。

もう1点は、生涯学習センターの特別講座ですが、市内外に関わらず定員を応募しているのかお尋ねいたします。

片平教育長

ただいま2点ございました。それにつきまして、米満課長お願いいたします。

米満生涯学習  
課長

中央公民館につきましては、講座数を増やす予定としております。その中で一番早い講座は5月から始めたいと思います。4月10日号の広報なかまで中央公民館の講座募集等をお知らせしたいと思います。

生涯学習センターの新型コロナから身を守るという講座につきまして、市内外は特に関係ありません。

片平教育長

中央公民館の機能を残すということでしたので、どんどんそういったところで進めていってもらいたいと思います。

衛藤教育委員

生涯学習センターの特別講座は有料でしょうか。

米満生涯学習  
課長

有料で880円となっています。1回で終わりです。

片平教育長

よろしいでしょうか。

それでは、2点目の専決処分を報告し、承認を求めることについてでございます。承認第1号中間市学校運営協議会の設置及び運営に関する規則について説明をお願いします。森課長お願いします。

森教育指導課  
長

中間市教育委員会事務専決規程第2条第1項の規定により、中間市学校運営協議会の設置及び運営に関する規則について別紙のとおり専決処分しましたので、同条第2項の規定に従いこれを報告し、承認を求めるものでございます。

本規則は、令和3年2月の教育委員会会議でご審議いただきました、中間市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴い、4月1日から施行するものです。学校運営協議会は各小学校に設置され、保護者や地域住民、教職員など第8条に規定

されている者から5名以内で構成されます。地域の方々と共に学校の運営や支援について協議することで、学校の運営に参画していただき地域とともにある学校づくりを進めて参ります。本規則の専決処分についてご承認をお願いいたします。

片平教育長

ただいま、学校運営協議会の説明がございましたが、それについて承認を求めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

教育委員

《了承》

片平教育長

それでは、承認ということで進めさせていただきます。  
3点目でございます。なかまっ子チャレンジ英検補助金交付要綱の一部を改正する要綱について説明をお願いいたします。米満課長お願いします。

米満生涯学習  
課長

今回、要綱の一部改正につきましては、コロナの影響で受験会場の必要数の確保が困難になったこと、感染症の対策費用がかさんだことに伴い、公益財団法人日本英語検定協会から受験料の値上げが決定された旨の発表がありました。また今回の受験料の改定に合わせ、同協会が受験会場の確保の観点から2次試験場として、県庁所在地又は主要都市に限定していた本会場での受験実施だけでなく、各地での受験会場でも2次試験会場として受験実施が可能となる変更を行ったため、要綱様式内の受験区分の修正をする内容となっています。以上の理由により、受験料の改定及び受験会場の変更に対応するため要綱の一部を改正するものです。  
よろしくをお願いいたします。

片平教育長

要綱の一部改正の内容は、受験会場等の変更とまた受験料の値上げというところで説明がございましたが、それについてよろしいでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員

なかまっ子チャレンジ英検補助金につきましては、基本的には、子供たちの負担を少なくするという考え方で補助をされてきたと思います。500円については個人負担と考えて良いのでしょうか。  
また、補助金申請書兼請求書の中に、補助金の交付は当該年度中に1回可能とありますが、1回の試験で不合格になる場合があるかも

しれません。その場合、2回チャレンジしたいという時は、2回目は9,700円を負担して受けるという形になるのかどうか、その点をお尋ねいたします。

次に学校側が申請する書類の一部で、領収書内訳書とありますが、補助対象経費分が500円×人数、補助対象外経費分が500円×人数と書いています。これはどのように理解すれば良いのか、その意味について教えてください。

片平教育長

ただいま3点ございましたが、それについて米満課長説明をお願いします。

米満生涯学習  
課長

最初の検定料と補助額の差が500円あります。この部分につきましては、英語の向上ということで、当時ワンコインで済むということで500円にしております。

また、年に2・3回受けても1回のみ補助ということになっております。

3点目につきましては、学校が受験者の一覧表を取りまとめて提出していただいています。英検は年に3回ほど実施しております。級が上がっていくごとに検定料も上がっていきますので、どの級で補助の申請を行うか精査するために、当該一覧表を提出してきた中で対象経費分と対象外の部分を分けていくために、500円×人数、補助対象外経費分が500円×人数と書いています。

衛藤教育委員

1回目を受けたら500円は個人負担ですよ。それを何人受けたかというのが、補助対象経費分が500円×人数ということですね。それでは、補助対象外経費分が500円×人数は、どういうことでしょうか。

米満生涯学習  
課長

年に3回ありますので、この試験について2級・3級・4級とかあります。一覧表には、受験した方の名前の一覧表がありますが、その中で今回補助を受けるのか、受けないのか、というのが、生徒たち、保護者が決めます。その一覧表の中で今回はAさんはやめときますという部分が、対象外になります。

片平教育長

例えば2級・3級受けたときに、9,700円と7,900円だから、9,700円の方で受けますということです。子供達に1年に

1回はワンコインでチャレンジしてもらいたいということで始まっているところがございますので、そういったところで進めています。

よろしいでしょうか。

続きまして、中間市地域学校協働活動ボランティア設置要綱の制定について説明をお願いいたします。米満課長お願いします。

米満生涯学習  
課長

中間市地域学校協働活動ボランティア設置要綱の制定につきましては、各学校にボランティアとして参画していただく方々の登録や任期などを定めたものです。保護者や地域の方々をボランティアとして募集し、地域と学校が協働して子供たちの学びを支える取り組みを推進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

片平教育長

ただいま、中間市地域学校協働活動ボランティア設置要綱の説明がございましたが、それについて、質問、ご意見等ございませんでしょうか。

衛藤教育委員

今、課長から、どうしてボランティアが必要かというようなことで、学びを支えるという風な話をされましたが、私はボランティアの基礎はそこだろうと思っております。子供たちの学びを支えようと、学校だけでなく地域丸ごと支えようということがボランティアの狙いだと思っております。そういうこと言えば、第1条に「学校等における諸問題の解決を図り、もって学校教育の充実に資する」というように、役割、任務が書いてあります。これはちょっとボランティアとしては荷が重いのではないかと思います。もう少し今課長が言われた中身の言葉で分かりやすくされても良いのではないかと思います。今各学校で学校支援ボランティアというのは、全国的に応募されて非常に教育効果があっているということを、インターネット等で調べたらそういう実績がありました。効果があっているという現実がありますので、良いことだと思いますし、中間市も地域の人たちに学校を支えてもらうという意味では、このような取り組みをされることは、今後学校にプラス効果をもたらすということで良いと思っております。ボランティアですから、できるだけ自分ができることを加勢してやろうと、応援してやろうと、そういう気楽な気持ちで参加できるという状況を作ってやった方が良いのではないかと感じます。そういう意味では、それぞれの市町村の設置要綱をインターネ

ットで調べましたら、非常に分かりやすい言葉で書いてありました。読んだら俺もやってみようか、私もやってみようかと感じるような言葉で書いた方が良いのではないかと思います。内容としては全部良いと思いますが、その言葉を全体的に少し見直していただいた方が良いのではないかとというのが意見です。

もう1つは、第2条に授業の支援、学校等の行事、部活動等に関する支援、環境整備等に関する支援、その他校長が必要と認める支援活動とありますが、分からない人は4つ全部ができなくて、1つしかできないということで、ボランティアに応募して良いのか迷う方もいると思います。例えば体育会のグラウンド整備でも良いですよ、あるいは樹木の剪定ができる方は樹木の剪定でも良いですよ、1つでもできることがあれば、ボランティアとして参加してもらっても良いですというような説明書きがいてのではないかと思います。その方が、応募者がたくさん集まってくるのではないかと思います。

それから、第5条に遵守事項とあります。遵守事項とは法的な部分であれば遵守でしょうけれども、ボランティアの人たちに遵守事項というのは、私は少しきついのではないかと思います。前の学校運営協議会及び設置及び運営に関する規則の中では、そこは守秘義務等となっているので、その程度で良いのではないかと思います。また、ボランティアは、活動に関し次に掲げる事項を遵守しなければならないとあります。私は次に掲げる行為をしてはならないと、その程度のもので良いのではないかと思います。

それからもう1つ、第7条にボランティア活動保険に任意で加入することができるかとあります。これは、本人がボランティア保険に入るか入らないかは本人次第だというように理解ができるのですが、そのような理解でよろしいでしょうか。

米満生涯学習  
課長

ボランティア活動保険につきましては、中間市では任意で加入をしていただくということにしています。それは、ボランティアをかなり多くの方が申請してきた場合の保険料を中間市で負担することになりますと、予算的部分も考慮しなければならないと思ひまして、任意加入で保険料は個人が負担することにさせていただいております。

衛藤教育委員	<p>学校によっては、ボランティア保険に加入されている学校もあると思います。PTAとしてボランティアをされる時に、保険そのものの金額は大した金額ではないと思います。私はボランティアにお願いするのであれば、せめて保険料は行政が負担しても良いのではないかと思います。保険料は行政が負担するので、ボランティアしてくださいというのなら分かるのですが、個人で保険に入ってくださいというのであれば、ボランティアをする人に対して不親切ではないかという気がしましたので、それは検討してください。</p> <p>次は質問です。応募された後ですが、応募された方に対して審査したり、あるいは、この人はダメだというような選定はするのでしょうか。</p>
米満生涯学習課長	<p>ボランティア活動ですので、登録の申請をしていただける部分につきましては、基本的には申請書を送っています。それで、流れの中でボランティア活動について学校等が必要とする部分につきましては、こういうボランティアに登録されてきた方がいますということで、再度学校と協議しながら、人選というか、その方々を決めていくという流れとなっています。</p>
衛藤教育委員	<p>基本的には、応募すれば全員そのまま認定されるということですね。</p>
米満生涯学習課長	<p>はい。</p>
衛藤教育委員	<p>第8条に謝礼および実費は予算の範囲内で支給するとありますが、現段階の予算はどの程度の額になっているのでしょうか。</p>
米満生涯学習課長	<p>予算額につきましては、今資料がございませんが、約600万円だったのではないかと思います。基本的にボランティア活動ですので、予算がある範囲内ということで、今コロナ禍で国等も予算が取れないという可能性も考えられますので、予算の範囲内としています。</p>
衛藤教育委員	<p>ボランティアの方が実際に学校に入って来られた時に、子供達にとっては知らない人が来るわけです。そうすると、例えば頭を下げる</p>

子供もいるでしょうし、しない子供もいるでしょうから、ボランティアの方が入ってきたときに、失礼にならないように、例えば腕章をしてもらうとか、あるいは何かを付けてもらうとか、何かそういう対策について、今のところお考えになっていますでしょうか。

米満生涯学習  
課長

今回の部分につきまして、名札等を検討しておりますけれども、今後の部分につきましては学校と協議をした中で対応していきたいと思えます。

片平教育長

今安全対策で必ず来訪者については、名札などは学校が準備しております。それから、衛藤教育委員が言われた文言が非常に難しいと、これは設置要綱で、募集要項はまた別に作るのでしょうか。

米満生涯学習  
課長

この要綱に従いまして、ボランティアの登録申請書を出していただくという流れになっています。それで、先ほど衛藤教育委員から1条関係について、ご指摘ご指導がありましたので、この場をお借りしまして、その文言については、学校等における諸問題のところですけど、この部分を地域全体で子供たちの学びや成長を支え学校を核とした地域づくりを目指すことを目的とするというような考え方、表し方で行きたいと思えますがいかがでしょうか。

衛藤教育委員

できるだけボランティアですからたくさんの負担や、あるいは大きな協力を期待すると、ボランティアの方に負担をかけると思えます。「時間のある時に手伝ってください。」と、様々なことを難しく考えなくてお手伝いしていただければというような雰囲気を感じさせるような形の応募が良いのではないかと私は思っています。ただ、ボランティアをしてもらった以上は、しっかり協力をしてほしいということは大事な事と思えます。応募の時に様々な難しい制限等を加える必要が現段階で必要ないような気がします。ただ、子供と接しますから、子供の安全安心というのが第一ですから、そこは十分に考えないといけないと思えます。

片平教育長

設置要綱というのは、このボランティア活動のこの設置するための要綱です。ボランティアをしてくださる人たちに募集をかけるのに、これを出すのではなくて、ボランティアをしていただいたかったら、募集要項、パンフレット等を作らないといけない。募集要項

は市民に分かりやすく、これは設置要綱の文言ですから行政文書としてこれで良いと思います。安全安心を守るためには、やはりしっかりしたことを言葉で、難しくなっても書いておかないといけませんので、こちらが元になる要綱としてあって良いと思います。ただ、ボランティアしていただけませんかという募集をかけるための募集要項はより分かりやすく、今、衛藤教育委員が言われたように、少しやってみようか、子供達に学習をさせるのではなく、学びを支えるということに繋がったら良いと思います。そしてここでも、4つ授業の支援とか学校等の行事とか書かれています。ここの第2条のところになんとか書かれていますけど、なりたいたいと思っている人は、ひょっとしたら見落とすかもしれません。こういったものを協力していただきたいのですが、というような優しい言葉で、募集要項を作る。これから募集要項を作ったら、なんかこの難しい活字を見ただけでは、やってみようかとは思わず、大変だなと思います。だから楽しくできそうだというような、これを分かりやすい平らな言葉で作って少しやってみようかとイメージができる募集要項、パンフレット等を別に作ったら良いのではないかと思います。

衛藤教育委員 これに、募集についてという説明書を付けてもらえれば良いということ。このような事で力を貸してくださいというふうなお願いだけをすれば良いと思います。

片平教育長 募集要項、パンフレット等というのを別途分かりやすい言葉で作るということで進めたらどうかと思っています。それについては、生涯学習課で検討していただければと思います。  
よろしいでしょうか。

教育委員 <<了承>>

片平教育長 次に進めたいと思います。  
その他ですが、卒業式がございましたので、それについて各教育委員さんが卒業式に参加していただいています。その卒業式の報告からしていただきたいと思います。衛藤教育委員からお願いします。

衛藤教育委員 卒業式は中間北中学校と底井野小学校の2校に参りました。

中間北中学校の第64回卒業式はコロナの影響で卒業生と生徒会役員、それから卒業生1名につき2名以内の保護者の参加で10時から行われました。卒業生は全員緊張した感じで、例年では中間北中学校は1人1人に卒業証書が授与されるのですが、コロナの関係で、今年は代表への授与でした。式次第は、通常よりも簡素化されており、胸にアクセント的なコサージュをつけた卒業生

41名が服装もきちんと整って、まるで息遣いが聞こえるような静けさの中で、卒業生全員がさわやかで晴れ晴れとした姿を感じることができ、大変気持ちの良い、落ち着いた厳かな式でした。いつもだと答辞の時にすすり泣く声が聞こえ始めるのですが、今年はそういう声もありませんでした。卒業の歌も練習不足を感じることなく、体育館中に大きな声が響き渡っていて、感極まって目頭を拭く生徒もいました。式は1時間で終わりました。

次に底井野小学校ですが、第141回卒業式で27名の卒業生の参加でしたが、不登校気味だった児童も今回は卒業式に参加したということで、全員参加の卒業式ができることを校長先生は大変喜んでおられました。卒業式はほとんどの児童の保護者が参加されており、中学校の制服をきちんと着用した卒業生は、少し大人びた緊張した様子でした。卒業生の入場から式が始まり、約40分で式が終了しました。式の感想としましては、コロナ禍の影響で在校生が不在のまま、卒業生1人1人に卒業証書が渡されました。名前を呼ばれた卒業生は大きな声で返事をし、整った服装できちんとした姿勢で受け取っていました。式次第は簡素化されていましたが、門出の言葉では全員が一緒になって言葉を語りかけることはなかったが、1人1人が意味を噛みしめながら、大きな声で語りかけていました。卒業の歌と校歌斉唱は27名という人数でしたが、体育館中に響き渡る大きな声で歌っていました。卒業生の人数の少なさを感じさせることもなく、落ち着きのある晴れやかな感じの卒業式でした。校長先生も今年で定年を迎えられるため最後の卒業式ということで、今までの熱い思いとはなむけの言葉を原稿なしの式辞で子供に語りかけるように話されていたのが印象的でした。以上です。

片平教育長

ありがとうございました。河本教育委員お願いします。

河本教育委員

私は、中間東中学校と中間南小学校に行って参りました。

中間東中学校は、式の前に問題のある生徒が何名かいるようで、校長先生がその生徒に対して対応をすることに追われていらっしやる様子でした。その時お話ししていたことで印象的だった言葉が、「問題を抱えている子にも何かしら大変な思いをしているのではないのでしょうか。」と質問すると、先生が「そうなんです。」とおっしゃったのと、「他の子に影響はなかったのでしょうか。」と尋ねたら、「それは全くありません。」ということでした。それで、式に臨んだ時に本当に影響がないというか、皆さんきちんとしていて、立派な卒業式でした。印象に残ったのは、送辞と答辞なのですが、やはり良いものだと思います。2人ともしっかりとした態度で、読まれた内容も素晴らしかったです。特に印象に残ったのが、コロナ禍で先生方が自分たちにとっても暖かく接してくださったことでこのコロナを乗り越えることができましたということ、それから親に対する感謝の言葉を述べていたことです。それを聞いて校長先生が事前におっしゃっていましたが、本当にこの学校は生徒1人1人を先生方が大切にされているということを感じました。

次に中間南小学校ですが、私がうっかり時間を勘違いして早く行きすぎたのですが、とても温かく先生方が迎えてくださって、その時に校長先生とお話しをして、コロナになって思うのが、一時期は学校が休校となって、学校に来れるようになった時の児童たちを見ていて本当に学校というのは子供たちのものだと、つくづく感じたとおっしゃっていらして、本当に温かい学校だということを感じました。そして入学式の時のパネルを設置されて、児童1人1人の様子が見えるようにされていたのが印象的でした。児童も卒業証書授与の時にきちんと私たちの前でも立ち止まって挨拶をされ、すごくきちんとした態度に感動いたしました。また、門出の言葉の途中で、「旅立ちの日」を皆さんで合唱されたのですが、教頭先生がピアノの先生ということもありまして、ピアノを弾かれて歌詞も良いので、児童たちも感動した様子でした。1つ気になったのが、中学校で通用するのかなという髪型をしている子がいました。校則というのはどういったものだろうと、今朝もテレビで制服を続けるべきか、私服にするべきか、論議があっていましたが、どこまでどうすることが校則なのか、私は今実際どうなっているか分からないのですが、世の中がずいぶん変わってきたので、あまり規則で縛りすぎると、それを破ることが当たり前のことになってきて、かえって悪いこともあるので、一度中学校と小学校の先生で、そういうことを

共有して考えて、卒業式の日にはやはりきちんと中学校の規則にのっとった髪型とかで臨んだ方が良いのかなどを話した方が良いのではないかと思いました。卒業式だからと思って少し華やかになって思っているのかもしれないけど、中学校になってそれが通用しなくなった時に、やはりギャップを生徒が感じてしまうのではないか、中学校で先生たちが指導しようと思ってもできにくいのではないかと改めて、心配になりました。やはり今の世間の現状を見ていて、どこまでがどうなのかっていうことを自分自身も随分考えさせられた卒業式でした。以上です。

片平教育長

ありがとうございました。

規則について、ある学校の校長先生と話したら、そのとおり髪型とか色を脱色して卒業式に臨む卒業生がいるということ、実は随分指導していますよ、ただ保護者がさせたいという所も最近は多くなったということでした。なぜ、小さなお子さんの髪を染めたり脱色したりしたら、体に影響があるということを保護者にきちんと説明をして、成長過程の子供たちがそういったことをすることによって、成長に悪影響であるということを保護者に向けて発信しなくてはいけないと思います。

河本教育委員

私も母校の恩師にお聞きしたことがあります、今髪を染めてくる生徒の保護者を呼び出して注意すると、昔は保護者が分かりましたという態度だったけど、誰にも迷惑をかけていないのに何が悪いのですかとおっしゃるそうです。しかし、私は集団の規律というのをその子が破るということは、他の人に対しても迷惑をかけていると思うので、保護者にもそういったことを伝えていかなければいけないと思います。なかなか難しい問題だと思いますけど、生徒の意見を聞くのも1つの手ではないかと思います。

片平教育長

昔は押しつけ規則がありました。最近は押しつけ規則ではなく、子供達で規則を作って守ろう、守るための規則にしよう、より良い集団生活を送るために何が必要なのか、規則の中でも必要じゃない規則もあるじゃないか、または今、規則の中にないけれど集団生活をより良くするためには、こんな規則を作った方が、みんなが幸せになれるよとか、楽しく生活ができるよって、これを生徒の視線でしっかり考えさせる。これが本当の規則の在り方ではないかと思いま

す。例えば学校が始まるのは何時、1時間目の授業は何時まで、チャイムは何時に鳴りますよ、そういった子供たちには決めさせられない規則もあります。そういったところを除いて子供たちの手で作らせる規則、これが大事なのではないか、規則を作りながらより良い生活ができる、集団生活が営まれるということに、子供達をしっかりと教育していく、考えさせることをそういった教育を進めていったら、学校を卒業した後に、例えば、ごみを捨てるとか、困った人がいたら手を差し伸べるとか、そういった姿勢に繋がってくるのではと思っています。10年くらい前から、規則のあり方、理不尽な規則等が問題になって、子供達に考えさせて討論して、そして友達と一緒に保護者も学校も考えていくこれが本当に大事なことなので、中間市の子供達にもそういった教育ができれば良いと思っています。

河本教育委員

テレビで見たのですが、本当に荒れている学校が生徒たちに、自主的に制服についてとか考えさせて、自分たちで全部させたら随分学力が上がって進学校になっていったという話を聞いたことがあります。だからいくら規則を決めても押し付けでは、生徒も守れないし、どうしてその規則が必要なのか、例えば制服を皆さんがきちんと着ていると綺麗に見えますよね。今回行った小学校は、見苦しいとかいう子は1人もいなかったのですが、やはりその規則は守るということをやっていかないと、社会に出たときに、会社ではもっともっと厳しい規則があるので、やはり学生の間にある程度の規則を守るということを実感した方が良くないかと思いました。

片平教育長

私が教員の時は、その服装がものすごく乱れた時代がありました。その時その服装で堂々と受験ができるの？という所から、服装について随分と考えさせたこともあります。受験だけ服装をきちんとして行ったら良いのではないかという子供もいました。あなたはそれで堂々と生きることに繋がるのか、あなたの生き方がそれで良いのかということまで、ずっと突き詰めさせていったら、だんだん学級が様々なことについて考えるようになって、考えて行動をするようになりました。その時期ちょっと荒れていました。実際、河本教育委員が言われるように荒れから立ち直った。そういったことをすることによって、自らの手で荒れから立ち直る学校づくりに繋がっていくのではないかと思います。ただ、今は非常に子供達も落ち着い

て、そういった乱れた服装の子供はいません。だからなくて良いのではありません。今だからこそ、今度は本当の意味でもっともっと規則についてしっかり考えさせて、生き方とか生活の在り方とかを子供自身で考えさせて、心を耕すような教育を進めていかななくてはいけない、僕はそういったことをすることによって、心を耕せばそこに大きな花、要するに学力も上がってくるのではないかと、勉強しなさいばかりではなく、子供たちの心をしっかり耕して、友達と支え合うとか協力し合ってより良く生きようとか、そういったところを考えさせることによって、だんだん今度は何のために勉強しているのか、どんな生き方が楽しいのかなど、しっかり考えさせたら自分から勉強って大事なんだ、学力って大事なんだってことが、しっかり分かるのではないかと思います。そういった教育を中間市で進めていきたいと思っています。良いご意見をいただきまして、今日校長会がございまして、そういった話をしていきたいと思えます。実際に去年は各学校に回って、先生達1人1人にそういった話を、心を耕すことこれは大事なことですよという話をさせていただきました。今年も何らかの形で校長先生から伝えてもらって、直接話をしてもらおうという方法で進めさせていただきたいと思えます。

衛藤教育委員

その点は、教育長のおっしゃったとおりだと思います。昨年度、福岡市の弁護士会がブラック校則ということで、随分とテレビ等や新聞等を賑わせました。基本的に問題になっているのは、子供たちが持っている生徒手帳にはまだいっぱい残っているということです。生徒手帳はまだ見直されていないと。何も知らない人は生徒手帳のとおりに従うということでそこを見直さないといけないということが、去年福岡市のブラック校則で問題になりましたけど、中間市は生徒手帳を見直されていますでしょうか。

片平教育長

生徒手帳は私が学校にいたときに、生徒手帳そのものが必要なのかという所から話をしたこともあります。

衛藤教育委員

前は学校の校章が入った生徒手帳を持っていましたよね。

片平教育長

その中に校則などが入っていました。

衛藤教育委員	その生徒手帳の校則が、弁護士会で問題になっていました。
片平教育長	<p>生徒手帳には証明写真を貼らないようになりました。写真を貼らなかつたら身分証明書として有効ではありません。逆に写真を貼って身分証明書の機能があつた場合に、当時はレンタルビデオ店などで、他人の生徒手帳を持って行って借りたり、様々な問題が発生しました。そういったことがあり、カード式にその当時変更したのではないかと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>それでは、佐野教育委員お願いします。</p>
佐野教育委員	<p>私は中間北小学校の卒業式に行つて参りました。第67回の卒業式で、卒業生は54名、うち46名がそのまま中間北中学校へ進学、8名がそれ以外の中学校に進学予定になっているようです。コロナ対策といたしましては、体育館には保護者が2名、式後の教室での最後のホームルームには1名しか行けないという制限がありました。そして卒業証書授与は人数も54名でございますので、1人ずつ校長先生から手渡しされたのですが、マスクを着用していました。教育委員の告辞、それから校長先生の式辞等の時は壇上にパネルが設置され、その前での式辞という対策がなされていました。あとは、入退場時は保護者の皆さんがカメラを構えたりしていますから、マスクは外し入場していました。かわいらしかったと言いますか印象に残つたのは、そのマスクが学年で統一されておりまして、そしてそれぞれのお名前がローマ字表記されたマスクを生徒さんみんなが付けていました。先ほど河本教育委員がおっしゃつたような、とつぴな髪型の子もいなく、大半が中学校の制服、5・6人がそれ以外の私服と申しますか、それもきちんとした子供用のスーツと言いますか、そういった制服を着ての入場でございます。国歌も校歌もお別れの歌も驚くほど大きな声が出ていました。私は校歌に馴染みがないので、歌えないのですが、国歌などは負けるくらいの声量で歌われていたのが印象的でございます。最後に校長室で校長先生にそれを印象的だったということをお話すと、非常におとなしい学年であると言われていたもので、非常に驚いたところでございます。桜がまだ咲初めの頃でございます、桜が満開だったら綺麗だったのだらうなという感じでしたが、非常に穏やかな天気の中で、式で非常に良かったという印象です。</p>

片平教育長

ありがとうございました。

私は、小学校は中間東小学校、そして中学校は中間中学校に出席しております。

中間東小学校は、第72回目の卒業式でございました。94名が卒業しております。感染対策をしっかりとられ、式が開催されておりました。ただ中間東小学校は人数が多いので、保護者の方は1家庭2人まででしたので、間隔的には少し狭いような気がしました。声も出さず静かに式に参列していただいていたから、感染対策になっているのではなかろうかと思っています。式は50分程度でございました。1人1人に卒業証書を渡すということでございましたが、堂々とした態度で卒業証書を受け取っていました。そして何よりも嬉しかったのは、この子たちが小学校1年生で入学してきたときは、椅子に30分も座ることができませんでした。それが背筋をピンと伸ばして、校長先生の話や、私の告辞もありましたが、頷きながら話を聞くことができる子供達に育っていました。これはやはり先生達の努力ではないかと思っています。日々の教育活動が、この卒業式に現れていると思いました。そして、歌、校歌もしっかり、そして校歌ならず門出の歌もしっかりとした声で歌っておりました。やはり歌がある卒業式というのは、本当に感動します。私も何か子供達の成長とその歌声を聞いて涙が出そうになりました。本当に非常に感動する卒業式でございました。なお、いつもは卒業式が終わって教室で最後の学活があります。それを保護者の方に見ていただくのですが、今回コロナということで、教室に上がっていただいたら非常に密になるというところで、教室には上がっていただくのではなく、体育館でお待ちしていただくようお願いしておりました。その時、教室の動画を今度無線LANもWi-Fiも入りますので、リアルタイムで体育館に流したらどうかと、そういった工夫もあって良いのではないかと思いました。それから後、最後に体育館から保護者の方が出て行き、最後の学活が終わって、担任の先生がちょうど天気も良かったので、外で保護者の方にお話をされておりました。その姿を見て、やはり保護者と担任の先生との繋がりが良いと思いました。そういった繋がりがあからこの子たちがこんなにたくましく成長できたのだということで、非常に嬉しく思いました。

中学校につきましても、中間中学校で74回目の卒業証書授与式でございました。50名の子供たちが卒業しました。随分、子供達が少なくなったなど、大きな体育館にぼつぼつと子供たちが間隔をあけて座っている、保護者の方も随分間隔が取れて、そういったところは良かったのではないかと考えています。そして、中学生は本当にたくましく成長されたと思いました。送辞も答辞もしっかりした内容で子供たちの成長を感じるような言葉で述べられていたところは、本当に素晴らしい卒業式だったと考えております。卒業の歌、これが素晴らしかったです。つい拍手をしようと思ったのですが、皆さん拍手して良いのかどうかというのがあったみたいで、ちょっと寂しいところもありました。でも本当に素晴らしい歌声で感動ある卒業式ができていたのではないかと考えています。

次に進みたいと思います。その他ですが他にございますでしょうか。北原課長お願いします。

北原教育施設  
課長

教育施設課から口頭にて第2回中間市学校施設再編基本計画策定委員会の開催日時等についてご報告させていただきます。昨年12月15日に第1回会議を開催後、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等により開催が遅れておりました。第2回会議を今月の4月19日、月曜日の午後4時から市役所別館地下第1会議室にて開催することとなりました。当該会議の会議内容につきましては、次回5月定例教育委員会においてご報告させていただきます。以上でございます。

片平教育長

よろしいでしょうか。

衛藤教育委員

今の件は、前回この件が出ました時に、教育委員会の委員としては基本的には公開してほしいという話をしましたが、今回は公開について協議されるのかどうかというのが1点と、もう1点はメンバーが異動されたり退職されたりする方がおられましたけど、それについての人選の交代はもうすでに済んでいるのかお尋ねします。

北原教育施設  
課長

まず1点目でございます。前回ご指摘をいただきました会議の公開・非公開につきましては、今回冒頭、事務局発議にて審議させていただきたいと考えております。

2点目の委員の交代、当然承知のとおり教職員人事等で退職あるいは市外へ転出された方もいらっしゃいますので、そのその後任につきましては現在就任の依頼を行っているところでございます。またその新しいメンバーにつきましても、当然会議内容としてご報告させていただきます。以上です。

片平教育長

よろしいでしょうか。

それでは協議事項に入ります。

最初に、令和3年5月定例教育委員会の日程についてです。松永課長お願いします。

松永学校教育  
課長

5月定例教育委員会は、5月上旬は連休のため、例年4月末ごろに開催しております。このことから、5月の定例教育委員会は、4月27日火曜日午前10時に開催したいと考えております。ご協議をお願いいたします。

片平教育長

ただいまの提案では、4月27日の火曜日に実施したいということですが、よろしいでしょうか。

教育委員

《了承》

片平教育長

それでは、5月の定例教育委員会を4月27日の火曜日10時から、この第1委員会室で開催いたします。

その他ございませんでしょうか。森課長お願いします。

森学校指導課  
長

協議ではありませんが、学校から誤って文書が出されたとお聞きしましたので、確認させてください。先ほど行事の報告の中で、4月9日と12日に小中学校でそれぞれ入学式が行われることをご報告いたしました。教育委員様につかれましては、予定を入れさせていただいていたかと思えます。入学式それぞれのご出席のほどどうぞよろしくをお願いいたします。それぞれの小中学校において、入学式の開式が10時となっております。また、各学校で感染症対策を行っておりますので、そちらへの協力もどうぞよろしくお願いいたします。

片平教育長

他によろしいでしょうか。

それでは、議決事項の第17号議案 中間市地域学校協働活動推進員の委嘱について説明をお願いします。米満課長お願いします。

米満生涯学習課長

今回委嘱いたします地域学校協働活動推進員は、地域住民等をよく知り、学校関係とも円滑にコミュニケーションが取れる方を各小学校区のまちづくり協議会からご推薦いただいております。地域学校協働活動推進員が委嘱されることで、地域と学校との間を調整、橋渡し役として双方の事情や要望などを十分に理解し、地域学校協働活動が学校運営の改善に結びつきますよう積極的な働きを図っていきたいと思います。ご審議のほどよろしく願いいたします。

片平教育長

よろしいでしょうか。

衛藤教育委員

メンバーそのものについての異論はございませんが、要望としてお願いがございます。この方々には、初めてこういう仕事をされる方が多いと思います。内容については、本人が受けるときにどういう仕事内容かというのを、詳しくご説明をされて了解されていると思いますが、いかがでしょうか。

米満生涯学習課長

推薦をしていただく時に委員さんにお集まりいただいて、内容を詳しく説明しております。

衛藤教育委員

分かりました。

片平教育長

それでは、委嘱についてよろしいでしょうか。

教育委員

《了承》

片平教育長

それではこの方たちに委嘱をするということで決定しました。他はよろしいでしょうか。他はないようですので、これを持ちまして令和3年4月の定例教育委員会を終わります。お疲れさまでした。

[閉会時刻：11時40分]

令和 3 年 6 月 2 日

教育委員 佐野正靖

教育委員 大田かほり